

硯海

No.89

平成29年4月発行

INDEX

- 会長挨拶／12月例会・臨時総会 … 2
- 例会レポート…………… 3
- 県青連行事・日本商工会議所青年部行事レポート … 4
- 委員会活動・行事活動レポート… 5
- 平成29年度会長挨拶／卒会者からの一言… 6
- 卒会者からの一言…………… 7
- 後期新入会員紹介／同好会レポート／
社会福祉事業／編集後記 …… 8

発行
下関商工会議所青年部

〒750-0006 下関市南部町21-19 TEL083-222-3333

〈URL〉<http://www.yeg-shimonoseki.com/>

〈E-mail〉yeg@shimonoseki.cci.or.jp

◀平成28年度下関YEG動画





平成28年度
下関商工会議所青年部
第37代会長 田中 肅己

【会長挨拶】 1年を振り返って

平成28年度を無事に終えることができました…次世代に繋げることができました。

下関商工会議所青年部の活動に対して、ご理解とご協力を賜りましたこと本当にありがとうございました。傍でずっと支えてくれた会員の皆様をはじめ、諸先輩方、関係各位の皆様には心から感謝申し上げます。

人と人との繋がりを大切にしていきたいと考え、「忠（真心）・恕（思いやり）・仁（愛情）」のスローガンのもと、今年度も様々な活動をメンバーと共にこなしてきました。悪天候の中での「第31回しものせき海峡まつり」や「ツール・ド・しものせき2016」をはじめ、我が街「しものせき」の地域の活性化及び商工会議所活動の一翼を担う事業を心のつながり“連帯”を感じながらおこなえたことを嬉しく思います。

これから先の40年、50年とさらなる飛躍に向け走り出す第1歩となるべく、諸先輩方が積み重ねてきたこの下関商工会議所青年部の歴史と伝統を胸に、繋げていかなければならない志と時代の流れに対応すべく変革の志の実現を、当会の活動の中心である委員会が積極果敢にチャレンジし、「夢」を語らい、「夢」を描けた1年だったと思います。

平成29年度は重松直伸新会長のもと、会員間のさらなる絆心（きずな）を深め商工会議所活動の一翼を担う活発な活動を展開し「夢」の実現に邁進して参ります。今後も下関商工会議所青年部に対しまして引き続きご支援とご協力の程よろしく願い申し上げます。

多くの人との繋がりや心を感じさせて頂いた1年間、本当にありがとうございました。

12月例会・臨時総会及び忘年会

12月8日（木）、平成28年度下関商工会議所青年部12月例会・臨時総会及び忘年会を下関グランドホテルで開催しました。

臨時総会では、三原利文議長のもと次年度新会長の選出が行われ、重松直伸副会長が満場一致の拍手で、平成29年度第38代会長に承認されました。

その後、会場を移して開催した忘年会では、田中肅己会長、重松直伸次年度会長より力強い挨拶が行われました。

また、中尾市長をはじめとする大勢のご来賓や青年部OBの皆様から沢山のご祝辞や激励のお言葉を頂き、親睦を深めるとともに新年を迎えるに相応しい、素晴らしい忘年会となりました。



10
月例会



『いざという時のBLS講習』 担当 地域活性化委員会

10月11日(火)、下関商工会館にて10月例会「いざという時のBLS講習」を開催しました。BLSとは、Basic Life Support(一次救命処置)の略で、一次救命処置とは、急に倒れたり、窒息を起こした人に対して、その場に居合わせた人が救急隊や医師に引き継ぐまでの間に行う応急手当のことです。日本ライフセービング協会九州支部長などを務める尾田智史氏を講師にお迎えし、BLSに関する一般論の講義にとどまらず、胸骨圧迫、人工呼吸及び

AEDの使用を実演していただき、下関商工会議所青年部会員も実際に人形を使って練習しました。いざという時にBLSの知識や経験があるか否かで人命が左右されることを改めて実感することができ、大変有意義な時間となりました。

また、当日は後期新入会員5名の紹介が行われ、田中会長より会員バッジが手渡されました。

『後期新入会員3分間スピーチ』『レノファ山口～夢の実現に向けて』

担当 会員研修委員会
広報委員会

11
月例会

11月8日(火)、下関商工会館にて11月例会を開催しました。

例会セレモニー後に後期新入会員5名による3分間スピーチが行われ、後期新入会員は、大勢のメンバーを前に緊張しながらも自身の社業やこれからのYEG活動に対する意欲を個性豊かに披露しました。

その後、広報委員会担当による11月例会「レノファ山口～夢の実現に向けて」を株式会社レノファ山口の河村孝社長を講師にお迎えしてご講演いただきました。

2006年から昨年のJ2昇格までの軌跡をはじめ、地域に根付いたJリーグビジネスについてお話いただき、「夢を実現する」「必ずやる」などの言葉が何度も出てきて、河村社長のスポーツで山口県を元気にしたいという想いがレノファ山口成功の秘訣と感じました。企業が地域を巻き込んで得ることは、会員の社業発展やYEG活動、地域貢献活動などにおける組織運営においても非常に有効であることを学びました。



1
月例会

古からの教え『論語』～忠・恕・仁から学ぶいつの時代も変わらぬ大切なこと～ 担当 常任理事



1月10日(火)、下関グランドホテルにて、1月例会「古からの教え『論語』～忠・恕・仁から学ぶいつの時代も変わらぬ大切なこと～」を開催しました。

真儒協会会長などを務める高根秀人年先生を講師にお迎えし、論語について、大変奥深い講義をしていただきました。

価値観が多様化し、社会も複雑となった現代において、リーダーたる者は古典＝東洋源流思想を学び、いかなる厳しい局面に対する時にも涸れることのない

精神的源泉を深めるべきであるとの指摘など、示唆に富む講義内容でした。

論語の奥深さを学ぶことができ、また、青年実業家として今後あるべき方向・指針についても深く考える契機ともなり、大変有意義な時間となりました。

また、例会後の懇親会では、普段は見られない会員渾身の一発芸の後、出席会員全員が自らの夢を記した紙飛行機を一齐に飛ばし、本年も夢に向かって飛び行くことを誓いました。

『下関YEG版地方創生にむけて ～終わりの始まり～』

担当 経営委員会

2
月例会

2月8日(水)、春帆楼にて経営委員会による2月例会「下関YEG版地方創生にむけて ～終わりの始まり～」を開催しました。6月例会、12月の公開委員会を経て、議論を重ね、事業計画を作成し、セグウェイを活用した地方創生ビジネスプランのプレゼンテーションを行いました。

短期、中期、長期の3段階のビジョンを設定し、一定の顧客層をターゲットに絞った企画により、セグウェイ移動の楽しさを演出し集客効果を図ることで採算性

を向上させつつ観光振興に寄与する計画の提案がなされました。また、あるかぼーとでのグランピング案も提案され、会員同士の企業間連携による高付加価値化した企画を含む計画も発表されました。

例会に出席いただいた下関市役所の方々からは高評価をいただきましたが、一方で今後の課題も示唆していただき、来年度のさらなる発展が期待できる例会となりました。



3
月例会



『平成28年度卒会式』 担当 総務委員会

3月8日(水)、下関グランドホテルにて総務委員会による3月例会「平成28年度卒会式」を行いました。卒会式は田中会長による卒業証書授与に始まり、重松副会長による乾杯の後、卒会者が解答者として参加する映像問題、イントロ問題などのアトラクションの際には会場が盛り上がりました。高山室長による送辞では、卒会者にまつわる面白いエピソードなどを交えつつ

思いのこもった言葉が各卒会者に送られました。その後、卒会者一人一人から答辞をいただき、入会から卒会までの間の思い出などを聴くことができました。下関商工会議所青年部の会員間の絆の強さを感じる感動的な例会となりました。

山口県商工会議所青年部連合会(県青連)行事レポート

第3回会長会議・第1回担当研究会議



12月17日(土)、山陽小野田市の厚狭地区複合施設(厚狭公民館)にて、「平成28年度山口県商工会議所青年部連合会 第3回会長会議並びに第1回担当研究会議」が開催され、下関商工会議所青年部からは田中会長をはじめ14名の会員が参加しました。

会長会議では、平成28年度の事業報告と平成29年度以降の事業などが議題になりました。担当研究会議では、「What's YEG ～今更聞けないYEG～」というテーマの下、平成29年度日本商工会議所青年部専務理事予定者である防府商工会議所青年部の古閑謙士氏による講演があり、続いて複数のグループに分かれて意見を出すグループバズセッションが行われました。その後、朝陽カントリークラブで開催された懇親会では、他単会の参加者との親睦を深めるとともに、来年度に下関市で開催予定の会員大会のPRも併せて行いました。

第4回会長会議・第2回担当研究会議

3月4日(土)、山口市にあるホテルかめ福にて「平成28年度 山口県商工会議所青年部連合会 第4回会長会議・第2回担当研究会議」が開催され、下関商工会議所青年部からは12名が参加しました。

会長会議では、平成28年度の事業報告(案)・決算報告(案)が報告され、下関市では、平成29～30年度の県青連事業についても協議されました。

また担当研究会議は、各単会が失敗したことから学んだことを発表し、それを学び合うという目的で「山口県青連しぐり先生～未来に繋がる価値ある経験」という題目で開催されました。下関商工会議所青年部は、事業計画が承認されるまでの万全な仕組みを紹介しました。

懇親会では、次年度会長が参加する催しや卒会式が行われ盛り上がる中、他単会の仲間達と有意義な親睦の時間を過ごすとともに、下関商工会議所青年部が引き受ける平成29年度の会員大会のPRもしっかりと行うことが出来ました。



日本商工会議所青年部行事レポート

第34回中国ブロック大会 たまの大会

10月22日(土)、「日本商工会議所青年部 第34回中国ブロック大会 たまの大会」が岡山県玉野市で開催され、下関商工会議所青年部からは田中会長以下総勢8名で参加しました。今大会は大会登録者数が1,420名となり、記念式典は盛大に催されました。また、『町企業から一部上場へ』という演題ではやま商事株式会社代表取締役社長の治山正史氏による記念講演が特別分科会として行われました。講演は、現社長の御祖父の代から現在までに経営者として実施されてきた25の決断についてのお話で、社長の仕事は決断することだということを学ぶことができました。



第34回全国会長研修会 かこがわ会議



11月25日(金)及び26日(土)の2日間、兵庫県加古川市の加古川プラザホテルで行われた「日本商工会議所青年部第34回全国会長研修会 かこがわ会議」へ田中会長及び重松副会長が参加しました。重松副会長が参加した第1分科会「THE POWER OF YEG」では、日本商工会議所青年部について「YEGに思うことは」の議題のもとグループディスカッションが行われ、青年経済人としての資質向上と意識の高揚を図り、人としての原点(基礎)を学ぶ貴重な体験ができました。また、日本商工会議所青年部の岡村会長による挨拶で始まった懇親会は盛大に行われました。

第36回全国大会 北海道いわみざわ大会

2月24日(金)、25日(土)、北海道岩見沢市で開催された「日本商工会議所青年部第36回全国大会 北海道いわみざわ大会」に下関YEGから田中会長をはじめ13名の会員が参加しました。大会キャッチフレーズ「泰山北斗～拓け!!今こそ魅せろYEG開拓精神～」の下、全国から約5千名のYEG会員が集いました。記念講演では、清水宏保氏が「人生の金メダリストになるために～諦めない技術力～」と題し、目標を持ち挑戦し続けることの重要性について講演してくださいました。平成28年度卒会者を送り出すイベントや、雪が降る中で打ち上げられた花火など、とても印象に残る全国大会でした。



国際交流事業



済州商工会議所青年部会訪問

10月8日(土)から10日(月)までの3日間、下関商工会議所青年部と姉妹結締している済州商工会議所青年部会との国際交流を行うため、総勢19名にて韓国の済州島を訪問しました。初日は空港にて盛大な歓迎を受けた後、済州商工会議所にてチャン会長をはじめ多くの理事の方々と両会の今後の活動について議論を行い、充実した懇談会を行う事ができました。2日目は済州島内を視察する機会があり、済州の歴史や文化・街並みや大自然に触れる事ができました。3日目はハラ図書館を訪問し、日本の書籍を寄贈する寄贈式を行いました。また、今回は初の試みとして会長を経験された両会のOB同士による交流も行い、両会のより良い関係構築に寄与する事ができました。加えて、初日及び2日目の夜と3日目の昼に両会による食事が行われ、両会メンバーが相互に親交を深める事ができました。

家族懇親会 秋穂海老狩り 日帰りバスツアー



10月15日(土)、会員交流委員会企画による家族懇親会「秋穂海老狩り日帰りバスツアー」を開催し、会員及びその家族の方総勢64名が参加しました。「えび狩り世界選手権」で有名な山口市の秋穂にて車海老のつかみどり体験を行うとともに、懇親会では参加者同士で会話をしながら海老料理を食べました。つかみどりでは、あちらこちらで「やったー捕まえた!」「あ、逃げられた!」といった声が聞こえ、澄み切った秋空の下で大人も子供も海老狩りを楽しみながら会員及び会員の家族との親睦を深めることができました。

下関商工会議所女性会・ 青年部OB会親睦事業 「山口地酒宴結び」

2月28日(火)、春帆楼で会員交流による下関商工会議所女性会・青年部OB会親睦事業「山口地酒宴結び」を開催しました。



当日は山口県の地酒4銘柄を用いた利き酒クイズを行い、地元の美味しい地酒を飲みながら、ご参加いただいた女性会、青年部OB会の方々と交流を深めることができました。なお、当日は青松委員長一人だけが利き酒で4銘柄全てを当てることができました。

公開委員会 「下関の地方創生を考える —交流人口増加を目指す取り組み案—」

12月1日(木)、下関商工会館にて経営委員会による公開委員会「下関の地方創生を考える—交流人口増加を目指す取り組み案—」を開催しました。最初に、下関の交流人口増加を目的とする事業計画のプレゼンテーションが経営委員会所属の会員より行われ、セグウェイを活用した交流人口増加を目指す計画として、①唐戸界隈の公道等における活用案、②下関市内公園各所における活用案の2案について説明がありました。

次に、街づくりに関わる下関市役所の方及び下関商工会議所青年部の会員を交えたパネルディスカッションが行われ、実現可能な事業計画に向けた建設的な提案や現状における課題が意見として出されました。

今回の事業提案が地域経済の発展の一助となればと思います。



公開委員会 「門司税関による安全・安心を守る ～安全・安心な社会のために～」

2月1日(水)、下関商工会館にて国際委員会による公開委員会「門司税関による安全・安心を守る～安全・安心な社会のために～」を開催しました。門司税関下関税関支署次長の加藤広之様を講師に迎え、税関の使命を踏まえながら税関の役割や組織、税関を取り巻く現状について講演していただきました。講演後は、貿易に関わる仕事をしている会員

をはじめとして複数の会員から講師への質問が出るなど、関税に関する参加会員の関心の高さが窺えました。下関市が海外との交易や人的交流と密接な関係のある港町であることを改めて意識しつつ税関に関する知識を深めることができた公開委員会となりました。



公開委員会 「もっと知ろう商工会議所・ YEG 後編」

3月1日(水)、下関グランドホテルにて会員研修委員会による公開委員会「もっと知ろう!商工会議所・YEG 後編」を開催しました。下関商工会議所青年部の会員29名が参加し、昨年8月に開催した公開委員会の第2弾として後期新入会員による下関商工会議所の歴史や事業、構成する議員に関する内容を発表するとともに、講師としてお招きした入谷珠代OBによる講演を行いました。

入谷OBによる講演は下関商工会議所青年部、下関商工会議所議員の両方の経験があるからこそ大変貴重なお話を拝聴することができました。

普段接することが多い下関商工会議所ですが、初めて知ることも多く、とても良い勉強となりました。



行事活動レポート

下関海響マラソン2016



11月6日(日)、「下関海響マラソン2016」が開催され、下関商工会議所青年部もボランティアスタッフあるいはランナーとして参加しました。今大会は1万124

9人が出場し、大会会長・中尾友昭市長が号砲を鳴らして、多くのランナーが海峡と歴史の町を駆け抜けました。フルマラソンには下関市出身でリオデジャネイロ・パラリンピック視覚障害女子マラソン銀メダリストの道下美里さん、リオ五輪男子マラソンにカンボジア代表として出場した猫ひろしさん、5キロにロンドン五輪女子マラソン日本代表の尾崎好美さん、2キロに元プロ野球選手の宮本和知さんとアトランタ五輪女子1万メートル日本代表の千葉真子さんがゲストランナーとして参加されました。



三団体交流親睦ボウリング大会

11月10日(木)、下関ロイヤルボウルにて下関市商工会青年部、下関青年会議所との3団体交流事業として、親睦ボウリング大会を開催しました。



今回は総勢70名の参加者がレーン毎にチームを組み、団体戦形式でスコアを競いました。ストライクやスベアをとってハイタッチをしたり、利き手と逆で投げる特別ルールでピンが倒れずにごくりしたりと、いろいろな姿が見られましたが、皆さん楽しんでおられました。その後の表彰式、懇親会也大いに盛り上がり、3団体での親睦を深めることができました。

下関花いっぱい計画



12月4日(日)、一般財団法人下関21世紀協会よりご案内いただき、下関花いっぱい計画に会員11名とその家族で参加しました。

当日は午前8時過ぎより約2時間にわたり花壇の整備と花の植え付けを行いました。心配された天気も植え付けが出来

ない程でもなく、無事完了することができました。午前9時半からは市長も参加しての記念式典、植付けデモンストレーションが観音崎公園にて開催されました。

2017下関文化らく～ざ

3月4日(土)、シーモールしものせきにて「2017下関文化らく～ざ」が開催され、下関商工会議所青年部もボランティアとして参加しました。

今年も多彩な講師が勢揃いし5つの教室で全20講座が行われ、どの教室も大変多くの人で賑わっていました。



また、田中会長が1限目の「しものせきの夢語り放題」に講師として参加し、これからの下関について熱く語りました。

下関文化らく～ざに参加し、まだまだ魅力ある下関だと実感した1日でした。





平成29年度
下関商工会議所青年部
第38代会長 **重松 直伸**

平成29年度 会長所信

下関商工会議所青年部（下関YEG）は、今年度で37年目を迎えます。その歴史の中、様々な活動を通し地域に貢献できたのも、諸先輩方をはじめ関係諸団体の皆様のご指導・ご支援の賜ものと心より感謝申し上げます。

今、我々が置かれている経済状況を考えると、政策により緩やかな回復傾向が続いておりデフレからの脱却も成し遂げようとしておりますが、中小企業においてはまだ回復が感じられず、地方では少子高齢化・人口減少・人手不足と課題を抱えております。近隣諸国は自国の利益優先的な考えを持ち、ナショナリズムの影を感じるのは私だけでしょうか。また、予期せぬ自然災害の恐怖、日本は災害集中期といわれており、今なお被災地では苦しい生活を強いられています。

このような時代に我々青年経済人に求められることは、時代を観察し本質を見抜く洞察力、物事を新しい感覚で考える発想力、異なる環境や立場に存するも譲り合い、助け合い同じ目標に向かう協調性だと考えます。時代の変化を受け止め事業活動の充実を図り、会員同士互いに高め合いながら活動して参ります。

また、被災地の将来を見据えた創造的復興を願うとともに、継続的な支援を行いたいと考えます。地域経済発展の支えとなるべく、これまでの青年部活動で培うことができた判断力・行動力を生かし事業の発展、ふるさと下関の活性化に力を発揮し、下関商工会議所青年部（下関YEG）にかかわる皆様に良い兆しを感じてもらえるよう努力いたします。また、会員の願い・希望を形に変えるため尽くして参ります。青年部活動を通し達成感や感動を共感することで生まれる会員同士の絆心（きずな）を活力に変え、研鑽を積み機会を大事にしながら信頼できる仲間と、「夢」を語り、「夢」を描き、「夢」への実現に向け挑み続けたいと思います。下関商工会議所青年部（下関YEG）の誇り・信念を持ち活動して参ります。

卒会者からの一言



上部 篤史
(株)空調サービス

平成18年度後期にたくさんの方との出会いと自己研鑽を求めて入会いたしました。様々な事業を通じて流した汗と涙、共に酒を酌み交わしたり笑ったりして本当に多くの方と出会うことができ、様々な機会を与えていただきました。その全てを体得できたかはわかりませんが、これからの人生の糧にしたいと思います。YEGに入会して出会いましたすべての方に感謝です。本当にありがとうございました。



大下 剛
(有)小月自動車

平成20年度前期に下関YEGに入会させていただき約9年が経ちました。9年間の青年部活動でたくさん仲間ができて、仕事だけでは経験できない貴重な体験をさせていただきました。素晴らしい先輩や後輩との出会いやご縁が私の財産になったと思います。

今後の下関YEGの発展と会員皆様のご活躍を祈念申し上げます。ありがとうございました。



越野 義晴
(株)東洋機工サービス

平成15年度後期に入会して、義務教育+高校+専門学校と同じ期間を青年部で過ごしたと思うと感慨深いものがあります。

会にはあまり貢献できませんでしたが、本人的には充実した歳月でした。

お世話になった諸先輩方、会員の皆様、会議所職員の方々、本当にありがとうございました。



酒本 哲也
(株) office RedLine

YEGの皆様、休会も含め短い間でしたが、大変お世話になりました。

この歳になっても人見知りが直らず、ご挨拶出来ない方がほとんどだったと思いますが、仲良くしていただき本当にありがとうございました。

YEGで出会えた方々の教えを生かし、地域に貢献できる会社作りを目指します。本当にお世話になりました。



立テ 知典
(有)ライフプラス

平成15年度に入会して、今思えばあっという間の13年間でした。活動内容の濃かった時期、薄かった時期と波はありましたが、無事に卒会を迎えることが出来て、YEGメンバーはもとより、会社の取引先、社員、何より支えてくれた家族には心より感謝しています。32歳で入会した当時を思い返すと、偉大な先輩たちを前にガチガチに緊張しながら例会に参加していたことを思い出します。自分を成長させてくれ、また一生の友を作ってくれた、下関YEGには感謝しかありません。下関YEGとメンバーの皆様の益々の発展とご健勝を祈念いたします。本当にありがとうございました。



富田 一雄
(有)富田工務店

平成13年度に下関商工会議所青年部に入会して、16年間のYEG活動が間もなく終わろうとしています。振り返ってみて良かったことは、何より沢山の『人』とのご縁をいただいたことです。社会人になると本音で語り合える友にはなかなか出会えないものです。私自身16年分のご縁をいただきました。このご縁を一生の宝物として、OBになっても大切にしていこうと思います。これからも末永くよろしくお願い致します。本当にありがとうございました。



中川 篤史
(株)タカマ

2年間という短い活動期間でしたが、本当に内容の濃い時間を過ごすことができました。もう少しだけYEGメンバーと行動を共にしたかったという気持ちもありますが、不思議と寂しさや後悔はありません。様々な世界を見せてもらい、頼もしい仲間との出会いは今後の私の財産になると信じています。YEGメンバーをはじめ、活動を通して知り合えたすべての人たち、そして自分に成長(勉強)の機会を与えてくれた会社「感謝」しています。ありがとうございました。



橋本 浩司
(株)ユニコン

平成25年度に入会し、今までで一番早く感じたあっという間の4年間でした。4年という限られた時間の中、様々な事業に参加し多くの仲間と時間を共に過ごせたことすべてが良い思い出になりました。下関YEGは、新しい出会い、新しい仲間、新しい経験等、自分にとって色々な財産を与えてくれた上に、青年経済人として成長できた最高の場です。下関YEGの一員であったことを誇りに思うとともに、仲間全員に「感謝」の気持ちでいっぱい。本当にありがとうございました。下関YEG、ありがとう!



原谷 康弘
(株)第一興商山口支店

平成27年度前期に入会し、次年度卒会という最短ともいえるYEG活動でしたが、非常に意義のある経験をさせていただきました。入会直後の海峡まつり、済州対応、地方創生への取り組み。仲間と酒を酌み交わし語り合い...良い思い出しかありません。“後ろ髪を引かれる”とはまさにこのことかと思いますが、皆様の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。下関YEG万歳!重松会長ファイト!みんなありがとう!!



福田 太一
下関唐戸魚市場(株)

平成21年度に入会し、約8年間の青年部活動でしたが青年部の皆様には迷惑ばかりお掛けしました。魚市場勤務とあって朝と夜の生活が逆転していることもあり、連絡も取りづらく、例会、委員会への参加も休みが多かった私ですが、青年部の皆様の温かい心遣いがあったからこそ、このたび卒会を迎えることが出来ました。最後に下関商工会議所青年部の益々の発展を心より祈念申し上げます。



水浦 加寿美
(有)昇興

平成18年度後期に入会いたしまして無事に卒会することができました。下関商工会議所青年部の活動を通じて、この10年間45歳を迎えるまでに色々な場面で様々なことがあり多くの方々と触れ合うことができました。この全ての経験が私の財産となり、経営者として、また一人の男として自己研鑽することができました。皆様におかれましては限られた時間を後悔の残らないよう有意義に使われて、この会のさらなる発展に貢献されてください。今まで大変お世話になりました。



三原 利文
サンデン旅行(株)下関支店

平成24年度に入会しあっと言う間の5年間でした。5年前は、YEGに知り合いがおりませんでしたので、不安いっぱい新入会員の初顔合わせに行った事を思い出します。しかしそこは素晴らしい出会いの始まりでした。同期の皆様をはじめ、多くの人々と出会い、社業だけでは体験出来ない貴重な経験をさせていただきました。自分自身成長出来たのではないかと思います。YEG活動で経験した事と、皆様方との出会いを大切に、これからも頑張っていきたいです。5年間大変お世話になりました。今後ともよろしくお願い致します。



吉永 貴文
(有)吉永建工

この13年間いつも楽しく青年部活動に携わることができたのは、諸先輩方と、後輩達に助けられたお陰でした。改めて感謝申し上げます。また、在籍期間で得た人脈・経験・知識は、大きな財産となり今後の自身の成長に役立てたいと思います。メンバーの皆様には、青年経済人としての青年部活動を、ますます発展させることを期待いたします。最後に10年連続で理事をさせて頂いたこと、心より感謝申し上げます。

平成28年度後期新入会員紹介



岡本 孝之

(株)アイ

青年部の活動を通して様々な業種の方々と時間を共にさせていただく中で、公私にわたる両面で刺激をもらうことが豊かな人生になると確信しております。
まだまだ分からないことばかりではございますが、皆様改めましてこれからよろしくお願いいたします。

H28年度後期新入会員の坂本と申します。

9月に入会してあっという間に数か月が経ちました。例会では普段経験できないことをさせていただき、委員長、副委員長はじめ同期のメンバーと「3分間スピーチ」、「前期後期親睦BBQ」などの行事に参加させていただきました。これから色々な行事や催事に積極的に参加し、YEGの活動を楽しみながら自分自身成長していけたらと思います。これからもなにとぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

坂本 尚弥

(有)坂本建設



高橋 彰

(株)三星社

平成28年度後期に入会いたしました、(株)三星社の高橋彰と申します。
入会してまだ数か月ですが3分間スピーチを終えて胸をなで下ろしています。仕事の都合などで、行事にあまり参加できていませんが、早く下関YEGの一員としてお役に立てるよう、頑張っております。

H28年度後期新入会員の山下と申します。

青年部としてまだ数か月しか経過していませんが新入会員の登竜門の3分間スピーチも無事に終わり、ホッとしています。

これから諸先輩方と一緒に地域のため、自社の発展のために楽しく活動できればと思っております。
まだまだ右も左も分からないことだらけですが皆様からのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

山下 大介

(株)Smile Carz



山本 浩司

大同生命保険(株)
山口支社
下関営業所

下関YEGに入会し数か月ですが、例会や委員会では様々な勉強をさせていただきました。今後も例会や様々な行事を通じて多くの方とかわり自分磨きに精進しつつ、これからのご縁も大切にしていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

同好会レポート

第2回苦和会

12月4日(日)、朝陽カントリークラブで「第2回苦和会」を開催しました。あいにくの悪天候でしたが、OB会8名、現役会員12名の計20名で楽しくラウンドすることができました。

優勝は星山会員で、OUT57・IN51の108のスコアでした(ダブルペリア方式)。

プレイ後の表彰式ではゴルフ談義(反省会!?)で大いに盛り上がりました。雨の中大変お疲れ様でした。



第3回苦和会

平成29年2月12日(日)、山陽国際ゴルフクラブ 東コースにて「第3回苦和会」が開催されました。

参加者はOB会員6名、現役会員6名でした。早朝より雪の為開催が危ぶまれましたが、大下苦和会会長の願いが通じたのか天候並びにコースコンディションも回復し、スタート時間は2時間ほど遅れましたが無事開催されました。



優勝はグロス90でまわられた西川OB会員でした。表彰式並びに納会はお酒で賑わいました。

下関市社会福祉協議会へ寄付

平成28年度社会福祉事業の一環として、下関商工会議所青年部が開催した各事業やゴルフ同好会「苦和会」においてチャリティー募金を行いました。ご協力いただいた結果、下半期で113,047円、



年間合計で311,463円を集めることができました。3月10日(金)、田中会長と川崎会員交流委員会委員長が下関商工会議所青年部を代表して社会福祉協議会へ伺い、下半期に募金していただいた浄財を寄付しました。

編集後記

硯海88号・89号は平成28年度広報委員会所属の会員14名全員で制作しました。

硯海の編集の中に記事や写真を確認していると、今年度も様々な行事があったことを改めて実感しました。広報委員会に所属することによって下関商工会議所青年部の1年間の活動内容について理解を深めることができました。

記事の執筆や写真撮影に協力していただいた会員の皆様、1年間ご協力ありがとうございました。